

業界2016年の見通し

会員企業 景気動向アンケートより

“バズワード”ともなった「IoT」に関連するソリューションが具体化し始めた。組込み分野においても大きなビジネスチャンスには違いなく、すでに成果につながっている会員企業もあることだろう。そうした追い風のなか迎えた2016年、組込み業界の景況はいかなるものか。会員企業による「景気動向アンケート調査」から企業の現状、業界予測を展望する。

事業内容	社
組込みシステム開発・受託	36
組込みソフト開発・受託	46
組込みハード開発・受託	21
汎用系ソフト開発・受託サービス	30
情報サービス	13
Sler	10
OEM(製造)	1
コンサルティング	4
商社	5
ベンダ・メーカー	6
その他	5

表1 回答企業の主たる事業(複数回答)

Q. 2015年の貴社の業績はいかがでしたか？

今回の結果で注目すべきは「非常によかった」「良かった」の合計が過半数を超えたこと。ここ3年を見ても前年の39%が最も多い結果だった。「普通」「悪かった」の回答も年々減少する傾向にあり、相対的に業績向上へ向かっていることが見て取れる。

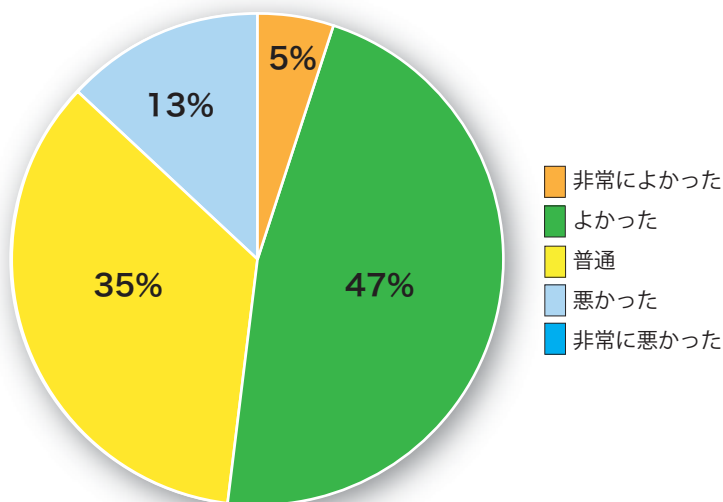


図1 2015年の貴社の業績はいかがでしたか？

Q. 前年と比較して2015年の業績は？

各社の対前年比でも、「良かった」との回答が前回の41%から52%に上昇した。前回の回答でも9%増加した回答になっており、さらに11%増加したことになる。また「悪かった」「非常に悪かった」の合計は、19%から「悪かった」のみの13%に減少した。

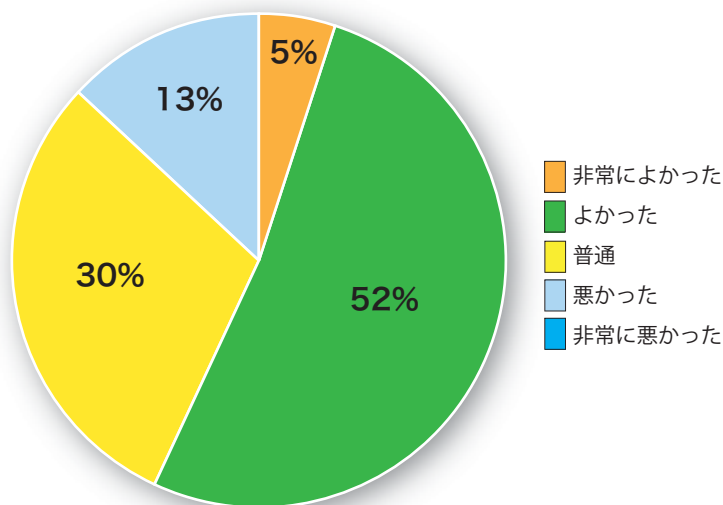


図2 前年と比較して2015年の業績は？

Q. 2015年業績の伸び率は？

では伸び率はどれほどだったのか。前回結果より大幅に増加したのは「20～10%」の回答で、14%から35%に伸長している。10%以上伸びたとする回答が43%あり、その合計が30%未満だったここ3年の流れからでも群を抜く結果となっている。

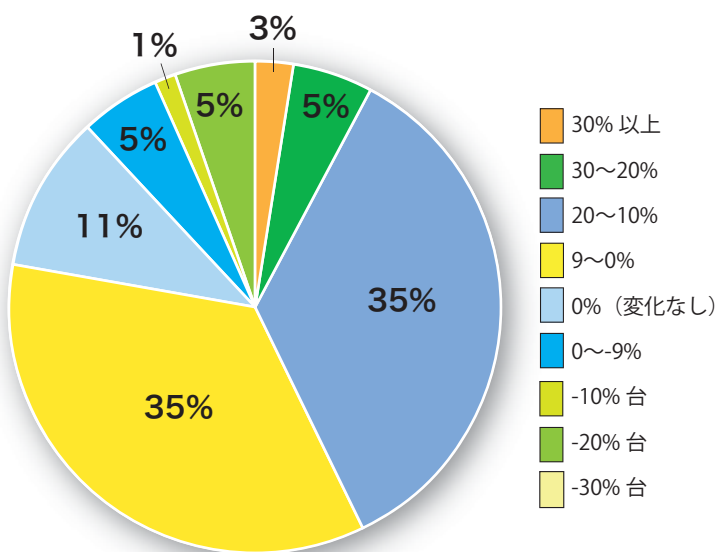


図3 2015年業績の伸び率は？

Q. 業績に貢献した部門は？

業績に貢献、または補完した部門を問う質問では、上位3つは「製作・製造」「研究・開発」「営業」で変わらないものの、その割合は2014年時の回答とほぼ同じ。2012年までの大幅な下降傾向から回復に向かい出した時で、上昇傾向にある今回の割合とリンクしている点は興味深い。またサービスが前回の6%から10%に増加、年々増えている点も見逃せない。

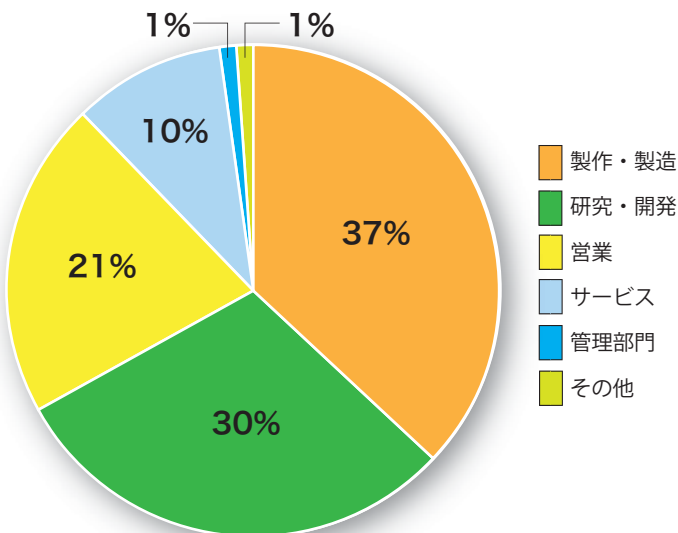


図4 業績に貢献した部門は？

Q. 今後補強したい部門は？

今後補強したい部門を見ると、2014年時は「営業」が42%あり、新たな案件を獲得することで業績回復につながったことが見て取れた。今回の回答で増加しているのは「研究・開発」と「サービス」。この結果から、今回の業績上昇の背景にはソリューション提供があり、その方向を強化しようという意向があると言える。

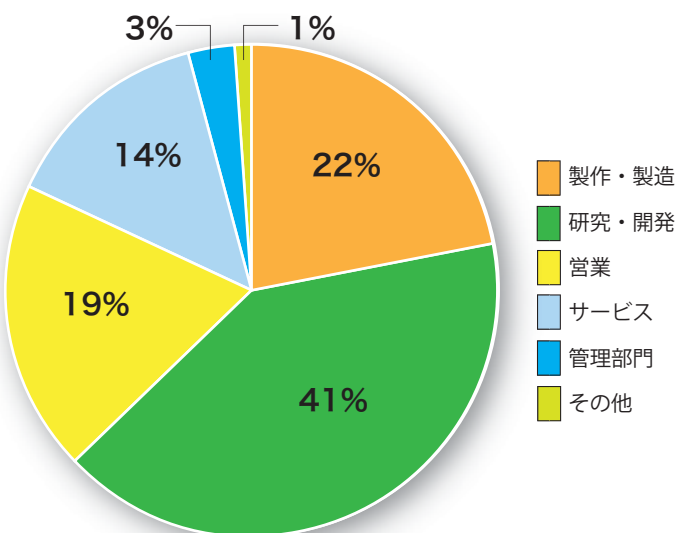


図5 今後補強したい部門は？

Q. 円安や株価、また国際情勢による影響は？

円安や株価、国際情勢による影響を受けた企業では、「円安の影響を受けた」との回答に集中した。わずかながら、前回は無しだった「株価の影響を受けた」が3%あった。

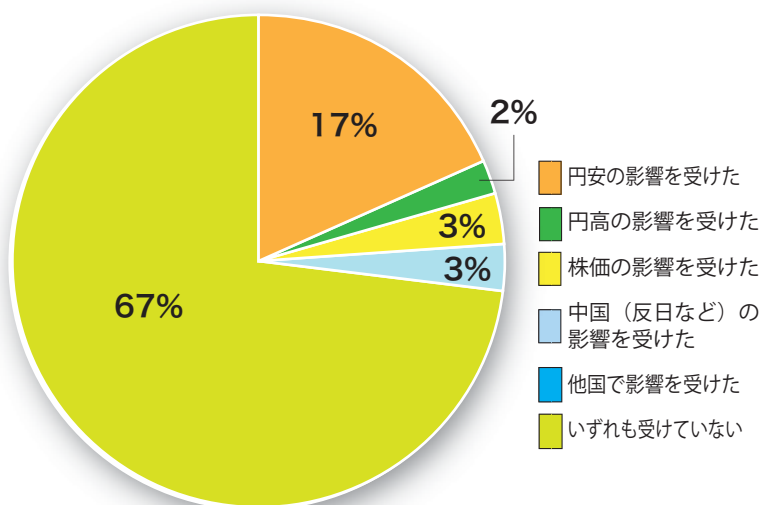


図6 円安や株価、国際情勢による影響を直接受けましたか？

Q. 技術者の雇用状況は？

技術者・従業員の雇用状況を問う質問では、前回同様「不足（積極的に採用していく）」に最も多く回答が集まった。とはいえ、「不足（採用は控える）」は減少傾向にあり、各社とも採用は積極的に考えていることが見てとれる。

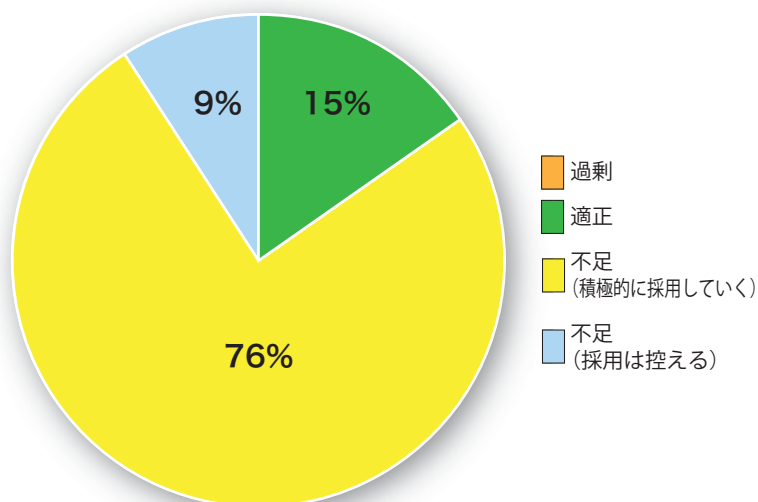


図7 技術者の雇用状況は？

Q. 2016年組込みシステム関係の景況は？

2016年の組込み業界の景況については、「非常に良い」「良い」の合計が前回回答の50%から53%に増え過半数を超えた。2013年時の回答以降、過半数超えは初となる。前は3%あった「非常に悪い」との回答は無しとなった。

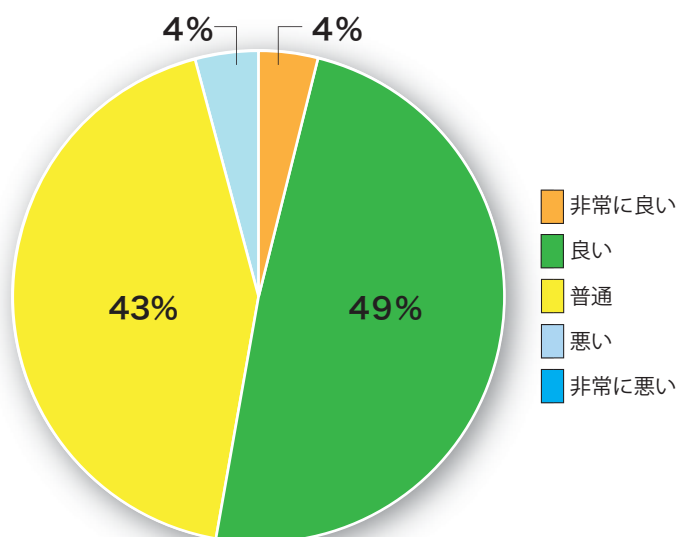


図8 2016年組込みシステム関係の景況は？

Q. 2016年の貴社の業績は？

業界の景況同様に自社の業績も「非常に良い」「良い」と見る回答が52%と過半数を超えた。「非常に悪い」が1%あったものの、「悪い」とする回答は前回の8%から大きく減少している。総体的に、業績は上向く傾向と見ている。

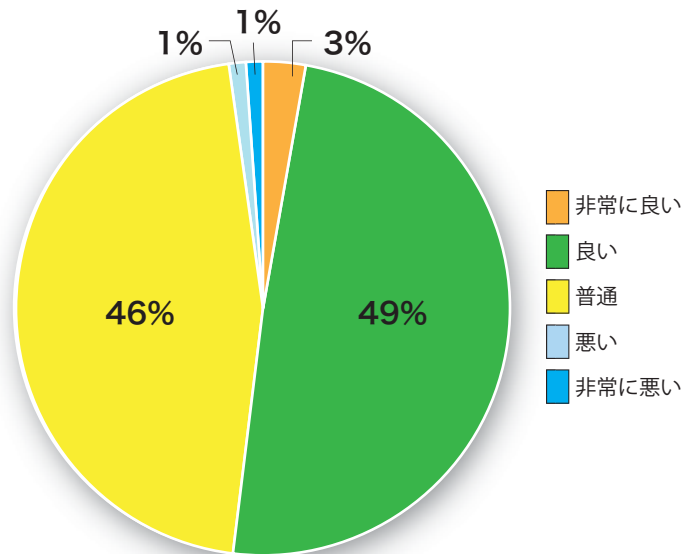


図9 2016年の貴社の業績は？

Q. 貴社が成長を期待する分野は？

成長を期待する分野では前回とほぼ同じ結果となった。前回回答で若干減少した「オートモティブ、交通システム」が17%から22%に増加した。その他増えた分野は「農業関連(アグリ)」「精密機械、電子機器」分野となった。

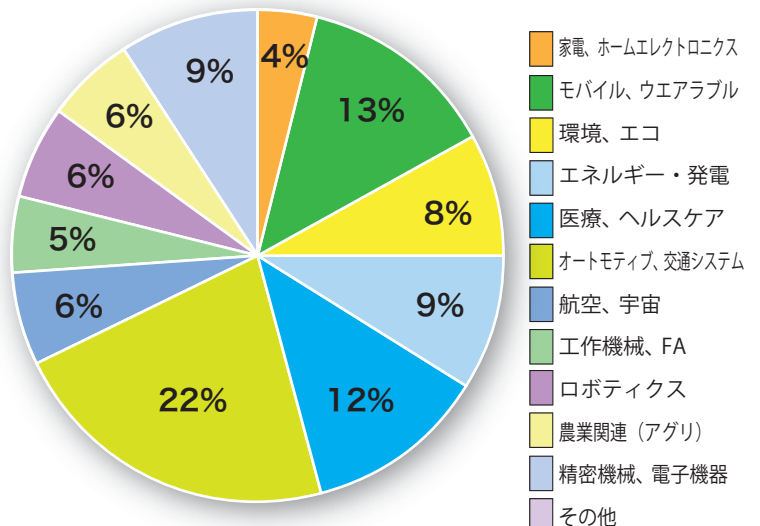


図10 貴社が成長を期待する分野は？

Q. 2016年貴社にとってのキーワードは？

この1年の自社にとってのキーワードは、キーテクノロジーや応用分野に類するものと、自社の環境や意識改善に類するものに大別されるワードがあがった。それぞれでのキーワードを取り上げてみた。

■キーテクノロジー、応用分野

- IoT/M2M
- ロボット技術
- 車載、車載近距離無線
- 車の機能安全
- 医療(ライフケア、ヘルスケア)
- GNSS
- AI
- データドリブン
- 自動認識
- 組込みセキュリティ
- 環境、エネルギー
- 農業(アグリ)
- 接続性検証

■自社の環境改善・意識改善

- 若手育成、次世代リーダー育成、要員確保
- チャレンジ
- 事業基盤強化、成長要素の確立
- 自社製品開発
- 新規顧客開拓、魅力あるサービス開拓
- IoTサービスの提供
- 製造業の新技術による自動化推進
- 新しい流れをつくる
- 変わる 変える
- スペシャリスト集団
- 提案力強化